

取材日:2011年6月15日
PHOTO:矢島宏樹
構成:本誌・工藤香里

シンクタンク・ソフィアバンク副代表

藤沢久美のFOCUS ON

63

今月の
ゲスト

土川 健之

日本中央競馬会理事長
(JRA)



競馬場は緑あふれるオアシス

「私は馬のことしか知らない」と笑顔で語る元獣医師の土川健之JRA理事長。

「ギャンブル」というイメージで拒否反応を示す人もいる競馬だが、実際に競馬場に行けばイメージは変わるはずだと、馬や競馬の素晴らしさを語った

都会のオアシス

藤沢 いま、競馬はどのような状況ですか。

土川 昨年は、延べ約一億七千万人のお客様が中央競馬に参加されました。景気がよくて消費マインドが上向きだった頃は、競馬に参加される方も多く、発売金が最もよかったのは一九九七年の四兆円でした。バブル景気の頃から行ってきた様々な施策が、売上に繋がった訳です。しかし、その頃から一般サラリーマンの給与も頭打ちとなり始め、翌年から昨年まで、残念ながら発売金は前年を上回ることなく、右肩下がりになり、昨年は約二兆四千五百億円でした。

発売金額だけ見れば、すごい額なのですが、競馬は施設や馬場のメンテナンス等に多くの経費がかかります。私どもとしては、何としても(売上の減少傾向に)歯止めをかけたかと思っております。現在、日本中央競馬会(JRA)で所有している競馬場は十カ所。毎週末に二〜三カ所の競馬場で競馬を行い、一年に延べ二



●つちかわ・けんじ／1944年滋賀県生まれ。岐阜大学農学部卒業。68年獣医師として日本中央競馬会に入会。福島競馬場競走馬診療所長、審判部長、業務部部长等を歴任し、99年理事に就任。2004年に副理事長に昇格し、07年9月より現職。

【企業情報】

設立／1954年9月16日
 資本金／49億2,412万9,000円(政府全額出資)
 事業内容／中央競馬の開催、馬主・服色・馬の登録、
 調教師・騎手の免許の発行、騎手の養成と訓練、
 競走馬の育生、馬の健康保持、馬事の振興
 HP／http://www.jra.go.jp/

意見がほとんどで、中には「早く福島でも競馬を再開してほしい」といった声も聞かれます。藤沢 被災地の方とお話をすると、「自粛を自粛して欲しい」といわれますよね。土川 それでも節電等は、しっかり守っていかねばならないと思います。競馬再開直

後は、東京競馬場の三面ある大型のスクリーン(ターフビジョン)を一面だけの運用としました。しかし、やはり節電は極力お客様に迷惑をかけずにやらなければと考え、ダービーから三面の運用に戻し、その分、バッテリーでの節電を徹底しています。ただ、あまり明るくなると、反対にお客様から「ちょっと明る過ぎるぞ」といわれたりして(笑)藤沢 それはいい関係ですね。最後に今後の展望を聞かせて下さい。土川 競馬の魅力をもっと伝えなければならぬと思っています。JRAの基本方針にもあります「レースの迫力、馬の美しさ、推理の楽しみ」を高め、これらが一体となった競馬の魅力の皆様にお届けしたいと考えています。古代から、馬と人との関わりはなぜ続いているのか。馬は人間と仲よくなれる動物なんですね。だから私は、競馬はなくならないと思います。みんなが馬を愛して、馬を人の仲間と感じられるような競馬ができれば最高だと思えますね。

洒落をして、パーティー気分で行く。日本は違いますよね。土川 海外では、元々貴族の娯楽として競馬が始まりました。一部の上流階級の人達のものだったのです。一方、日本では、誰もが参加できる大衆娯楽として競馬が発展してきました。格差がないのは、いいことだと思っています。長年、競馬に携わってきた先達が努力して、市民権を得た競馬を、今後も続けていきたいと思っています。馬ともファンともいい関係を藤沢

獣医師だったそうですね。初の生え抜きの理事長ですが、どのような経緯で理事長にご就任されたのでしょうか。土川 私自身、青天の霹靂でした。社会経済の厳しい変動期の中で、馬のことや現場のことをよく知っている人間が必要だと考えたのではないのでしょうか。藤沢 現場を知っている方がトップに立たれるというのは、とても大事なことです。土川 それで売上がよくなれば、もう拍手喝采のだけでも(笑)

今回の大震災で競馬開催も危ぶまれましたが、競馬サークル一丸となって「被災地支援競馬」として開催に漕ぎ付けることができました。再開以降は、競馬開催を通じて様々な支援活動を行い、宝塚記念競走まで、約四十億円のご支援をいただき、すでに一部は日本赤十字社に寄付いたしました。震災後、競馬を再開する直前は「こんな時期に競馬をやるのか」といったお叱りもいただきましたが、再開後は、競馬を通じた支援活動が支持されたのか、競馬再開に賛同するご

意見がほとんどで、中には「早く福島でも競馬を再開してほしい」といった声も聞かれます。藤沢 被災地の方とお話をすると、「自粛を自粛して欲しい」といわれますよね。土川 それでも節電等は、しっかり守っていかねばならないと思います。競馬再開直後は、東京競馬場の三面ある大型のスクリーン(ターフビジョン)を一面だけの運用としました。しかし、やはり節電は極力お客様に迷惑をかけずにやらなければと考え、ダービーから三面の運用に戻し、その分、バッテリーでの節電を徹底しています。ただ、あまり明るくなると、反対にお客様から「ちょっと明る過ぎるぞ」といわれたりして(笑)藤沢 それはいい関係ですね。最後に今後の展望を聞かせて下さい。土川 競馬の魅力をもっと伝えなければならぬと思っています。JRAの基本方針にもあります「レースの迫力、馬の美しさ、推理の楽しみ」を高め、これらが一体となった競馬の魅力の皆様にお届けしたいと考えています。古代から、馬と人との関わりはなぜ続いているのか。馬は人間と仲よくなれる動物なんですね。だから私は、競馬はなくならないと思います。みんなが馬を愛して、馬を人の仲間と感じられるような競馬ができれば最高だと思えますね。



●ふじさわ・くみ / シンクタンク・ソフィアバンク 代表。自らも起業・経営経験を持ち、1,000社を超える経営者のインタビューの実績を持つ。都府審議員等、公職も複数兼務。法政大学院客員教授。

百八十八日の競馬開催を実施して
ます。開催を行っていない競馬場
では、レース実況を大型ビジョンに
映して競馬を楽しんでいただいで
ます。また、平日は子ども達を中心
に、近隣の方々に施設を開放して
います。藤沢 これからもっと来場者を増や
すために、考えていらっしゃること
はありますか。
土川 まず「百聞は一見に如かず」で、
競馬場にご来場いただきたいと思っ
ています。ギャンブルと聞いただけ
で拒否反応を示す人もいますが、
一度、競馬場に来てみて下さい。東
京競馬場や中山競馬場をはじめとし
て、競馬場は緑あふれる都会のオアシ
スです。競馬を開催している期間は、
ポニーによる乗馬体験や馬車等、お
子様が馬と親しめる催しも行ってい
ます。

いま成人人口は一億人弱
ですが、私どもでは毎年、
競馬場やウイーンズに来場さ
れるお客様、および世間一
般の方々に対して、競馬に
関する意識調査を行なっ
ています。いままで競馬に参
加されたことがある方、参加して
みたという方を合わせると、約二
千二百万人になります。現在、
競馬に参加されている方々、
いわゆる競馬人口は約五百万
人程度ですが、競馬場にご来
場いただければ、馬の美しさや
競馬の魅力がわかっていただけ
るはず。藤沢 馬の疾走する姿
や躍動感を味わって欲しいと思
います。競馬場で馬を見てい
るだけでもリラックスできま
すし、日頃の疲れを癒して自由
にノんびりされるのもいかが
でしょうか。

日本らしい競馬を育てる

藤沢 では、事業を幅広くして
いくよりも、競馬のレースその
ものを面白くしていくという
方向性ですか？
土川 それもなかなか難しい。
オググリキヤップが、九〇年
の第三十五回

有馬記念を勝った時は、中山競馬
場に約十七万八千人が来場され
ました。昨年オググリキヤップ
は残念ながら天に旅立ちまし
たが、追悼行事にお見えにな
ったのは、三十一、四十代ご
夫人方が本当に多くて。オグ
グリキヤップは、競馬の世界に
女性を引き入れてくれたのだ、
と改めて感じました。ですから、
私どもができるのは、スターホ
ースやスター騎手が現れたら、
それをどのように大切に育てて
いくかということです。もちろん、
お客様に楽しんでいただくよう
な競馬をお見せすることは大切
です。家族や友人の方と一緒に
競馬場にご来場いただけるよう
な環境をつくり、その中で馬と
親しんでいただければ嬉しく思
います。そして、それぞれの方
が楽しめる競馬場でありたい
と思うんですね。
また、競馬に興味を持っていた
ためには、他のスポーツと同様
に国際化は避けて通れません。
ヴィクトワールピサが、世界の
強豪馬を相手にドバイワール
ドカップで優勝しました。世界
が注目する海外の大レー



スに出走した競走馬が、帰国後
に国内でも出走すれば、多く
のお客様に競馬場にご来場い
ただきけます。これまで、日
本の馬はいま一つ海外でいい
成績をあげられなかった。そ
れは血統もあつたでしょうし、
調教の仕方や、海外で出走す
るための情報が少なかったせい
もあるでしょう。しかし、今日
では技術も上がり、世界で互
角に戦えるようになってきま
した。日本のホースマンの努力
の結果だと思えます。
藤沢 海外では、競馬に行く時
はお

※1 オググリキヤップ = 現役は1987～90年。32戦22勝、うち重賞12(G1は4)勝。90年の第35回有馬記念で勝利し、引退した。
※2 ヴィクトワールピサ = 2009年デビュー。13戦8勝(2011年6月15日現在)。3月26日、日本の馬で初めてドバイワールドカップに出場した。